

土砂災害警戒区域外の土砂災害リスクの注意喚起

土砂災害警戒区域等でない区域でも、土砂災害が発生する場合があります。
付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意してください。

<解説>

●土砂災害警戒区域を指定する目的及びその指定対象

土砂災害警戒区域は、「現在人家等が存在する、又は将来人家等の立地が予想される箇所」を対象として指定されます。これは、土砂災害による被害を防止・軽減するため、市町村が警戒避難体制を整備するとともに、ハザードマップ等により居住者等に対し危険の周知を行うために指定されるからです

●土砂災害警戒区域の指定基準の考え方

これまでに土砂災害が発生したことのないところでも、土砂災害が発生する場合があります。これは、土砂災害警戒区域の指定基準は、過去の土砂災害の発生状況を踏まえ、土砂災害の9割以上をカバーするよう、地形の形状・形態から決められているからです。

●土砂災害警戒区域外の土砂災害リスク

土砂災害警戒区域は、現在人家等が存在せず将来も見込みがないのであれば、地形的基準を満たしたところであっても、土砂災害警戒区域は指定されません。

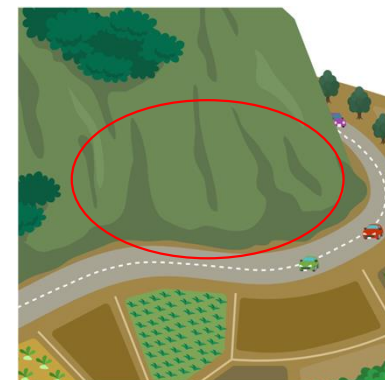
したがって、**山あいの道路(山や丘の間を通る道路)**等、近辺に人家等がない地域では、ハザードマップに危険性が表示されていなくても、溪流(谷川や沢。**平常時には水が流れていないような、山の中の水が集まりやすい浅い谷**)沿いや、**がけ地の近辺**は、土石流やがけ崩れが発生するおそれがありますので、大雨で避難を行う際には注意が必要です。

また、特に大雨特別警報が発表されるような極端な大雨や大地震の場合には、ハザードマップに表示がある範囲を超えたり、表示がある範囲と範囲に挟まれたりした場所などでも、土石流や地滑り、がけ崩れが発生することがあります。

自分の住んでいる家の周辺や避難路をよく確認し、大雨などの際には十分注意してください。



山あいの道路にある溪流
(平常時には水が流れていないような
山の中の水が集まりやすい浅い谷)



山あいの道路にあるがけ地